

市民活動は  
まちの未来を  
創造する

# パートナー

発行 静岡市清水市民活動センター  
 指定管理者 特定非営利活動法人  
 NPOサポート・しみず  
 〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1  
 Tel 054-340-1010 Fax 054-351-5530  
 mail@shimizu-s-center.org  
 http://shimizu-s-center.org

## 準備も佳境「清水七夕まつり」



清水の夏を告げる風物詩「清水七夕まつり」の飾り作りが始まりました。

戦後の復興と商業の発展を願い、商店街が中心となって続いてきたまつりですが、現在は実行委員会が講習会を開き、一般市民も参加できる仕組みがあります。

「もっと七夕を盛り上げたい！」という清水市民活動センターの利用団体のみなさんも「飾り作り」に参加しています。  
 清水七夕まつり2018 7月5日(木)～8日(日)

### 事業報告



#### ● 事業報告書作成と定款チェック講座 4月20日

年度始めは団体にとって何かと忙しい時期です。多くのNPO法人は総会をひかえ、事業報告・決算・監査、そして新年度の事業計画や活動予算の作成に追われます。

また、平成28年の法改正により、平成30年10月1日以降は貸借対照表の公告が義務化されるため、多くの法人が定款を変更することになります。そのためか、定款変更に関する質問が相次ぎ、団体ごとに対応しました。

事業報告書は、所轄庁を經由し内閣府のポータルサイトで公開されます。「提出したはずなのに、最新の報告書が載っていない！」という問い合わせをいただくことがあります。期限をすぎて提出すると、公開が遅れたり、未公開のままになることがあります。ご注意ください。

3月31日に事業年度が終わる法人のみなさん、報告書の提出期限は <sup>たなばた</sup> **7月7日** です！

## リレートーク 港の風 46

今回は、昭和23年設立という長い歴史を持つ清水サッカー協会“7代目”理事長・西村さんに、協会の活動とサッカーのまち清水への思いをうかがいました。



### ● “誰でもいつでも” サッカーができる街に

NPO法人清水サッカー協会 理事長 西村 勉  
(全国少年少女草サッカー大会 実行委員長)

### サッカーとともに

西村さんはS.32年生まれ。サッカーとの出会いは江尻小6年のとき。以降、清水一中→清水東高→順天堂大と、サッカー選手として活躍されました。

その後、教諭として清水二中、由比中、興津中、三中、六中、庵原中とサッカー部顧問を務めます。

その傍ら、県・東海選抜のコーチや監督を歴任、さらに清水サッカー協会、県サッカー協会等の仕事も担っていました。しかし、サッカーに集中したいとの思いから、7年前に退職。

現在は、協会の専従理事として活動しています。

### 多岐にわたるサッカー協会の活動

協会では、少年から高校までトレセン活動を中心に、海外で活躍できるトップ選手の育成・強化を図っています。

一方、「いつでも」「どこでも」「どの世代でも」地域でスポーツが楽しめるように、50年続いている少年・少女の大会の他、シニアやママさんサッカーまで各種大会を運営しています。

また、サッカー教室の開催はもちろん、指導者の育成など様々な事業を展開しています。

今年度は、少子化に伴う登録人数の減少対策を重点施策の一つに位置づけ、静岡県サッカー協会中東部支部と協力しながら、キッズサッカー教室やガールズサッカーパーティに取り組んでいく予定です。

### サッカーを生涯スポーツに

「生涯スポーツ」は、健康づくりや仲間との交流を目的としています。協会では、シニアの活動も盛んです。70歳以上の部では、約100名のメンバーが県内各地から集まり、毎週水曜日の昼間に芝生のグラウンドを使ってリーグ戦を行っています。

また、昭和46年から続いている育成会リーグ、その1年後に始まったママさんリーグも実施しています。



### ハンディキャップサッカーへの取組み

はじめは、障がいがあるお子さんの親御さんの「運動をさせたい」という相談から。

当時、清水には養護学校がなく、ボールを蹴る場所がありませんでした。最初はスポーツを楽しむのみでしたが、現在では特別支援学校のチームやOBチームも増え、3チームが活動しています。

また、ろう者サッカーやアンプティサッカーなど、多様なサッカーの練習会や大会も清水で開かれるようになりました。

### 未来を担う少年少女のために…

今年で32回となる『全国少年少女草サッカー会』は、4,000人規模の全国大会です。男子256チームが5日間、女子32チームが3日間、市内各地で熱戦を繰り広げます。中学生、高校生をはじめとするボランティアによる大会運営も大きな特色です。



また、昭和49年度より海外遠征を行っています。近年は、小・中学生が台湾に遠征しており、現地での交流会は、食事を含め他国の文化に触れる大変良い機会となっています。

今年は、夏の草サッカー大会に台湾8、香港1、中国2、韓国1の合計12チームが参加表明しており、「SHIMIZU」の知名度が年々向上していることを肌で感じているそうです。

\*\*\*\*\*

今回のお話から、スポーツ振興だけではなく、まちづくり・人づくりといったマクロの視点を持って活動されているという印象を受けました。

「誰でもいつでもサッカーができる街に…」

西村さんのサッカーへの熱い思いは続きます！



お問合せ ☎ 054-337-0302 (清水サッカー協会)

## 市民活動見てある記

土さえあれば生きていける ～弥生の暮らしから学んだもの～

### 『ARTORO (アートロ)』

主催 登呂会議

#### ● ARTORO (アートロ)とは？



▲登呂遺跡内で田植え

駿河区にある約2,000年前の弥生時代の遺跡「国指定特別史跡・登呂遺跡」。

この文化・歴史的価値を広く伝え、地域と共に育ち、共に学び、より愛される遺跡となることを願って『登呂会議』は2010年に設立されました。

現在は、子どもから80代まで年齢も職業も様々なメンバーが活動しています。昨年度は、地元町内会からの参加もあり、地域への広がりを見せています。

登呂会議の活動の一つに【ARTORO(アートロ)】があります。

アートロとは、『土さえあれば生きていける』をテーマとして、「土から作る・食べる・生きる」という循環を、一年を通して体験する活動です。

決して古代の暮らしの復元ではなく、「現代の暮らしを見直すきっかけ」として、新たな学びの場(研究ラボ)を生み出すことを目指しています。



▲素朴なハテナ(?)をガッテン(!)に

#### ● “暮らしのぐるり”を体験

毎年、登呂遺跡内の田んぼで米を作り、その田んぼの土で土器を作り、収穫した米を土器で炊いて食べる、という“暮らしのぐるり”を体験しています。

昨年は、「自給自足は道具から」をテーマとして、稲藁のポシェット・杉の板琴・竹の指輪・竹皮のカゴなど、いろいろな道具を作りました。

メンバーの中には、土器の修復に使う膠(にかわ)を、自ら鹿を撃って作った強者もいたとか!!!



▲作った土器で炊飯

#### ● 今後の展開は？

道具の最終形は「住まい」なのではないかと考え、茅葺の研究を始めています。茅葺屋根は、足元にある素材(稲藁、麦わら、かやなど)で作られており、古くなった屋根は降ろした後、肥料になります。

昨年は、遺構の発掘を体験。フィールドワークで地形を体感し、昔の地形のジオラマを作製しました。

また、民族建築学の先生やかやぶき職人の方をゲストに招き、住まいと素材について学びました。

そして今年は、いよいよ住まいを作るために、屋根材に適した稲を植えるそうです。

遺構発掘体験▼



#### ● アートロ人、募集中！

登呂会議では、年間を通して一緒に活動するメンバーを募集しています。

年の最後には収穫祭を予定。米喰う人々が集い、収穫を祝い、音楽を奏でます。

連続講座	6/10	「土で、稲を育てる」●田植え
	9/9	「鳥の巣から学ぶ ～足元にある素材から居住空間をつくる～」
	10月中旬	●収穫
	11/24,25	「身体で測る、 足元の素材で住まいを作る」
特別講座	2月	「土で育った米を、土器で煮炊きして食べる。～収穫祭～」
	8月	「竹の指輪づくり」
	1月	「杉の木で椅子を作ろう」
	3/23,24	「石器づくり～黒曜石オリンピック」

お問合せ

公式HP (<http://artoro.jp>)▶

☎ 054-270-6938

✉ [contact@artoro.jp](mailto:contact@artoro.jp)



## 清水市民活動センター主催事業のご案内

6月29日(金)

### NPO法人の事務のお仕事カレンダー

NPO法人としてしなければならない事務の仕事はたくさんあります。

1年の事務流れとポイントを知り、スケジュールを立てることで、事務局運営がスムーズになり、大事な書類の提出漏れもなくなります。

日時 19:00~21:00

定員 20名 お申し込み順

講師 センタースタッフ(佐藤、川口)

参加費 1人 300円(資料代)

県内  
初企画!

7月14日(土)

### SDGsとNPO

「世界の貧困をなくし」、「持続可能な世界を実現する」ことを目指し、2015年に国連で採択された17分野の持続可能な開発目標、SDGs(エス・ディー・ジーズ)。

NPOとしてどのように関わっていくのか、先進事例を学びながら考えていきましょう。

日時 13:30~15:30

定員 30名 お申し込み順

講師 日本NPOセンター特別研究員  
新田英理子さん

参加費 1人 200円(資料代)

7月6日(金)

まち・コレシリーズ15

### Shimizu Rose Story 清水薔薇物語

清水は全国でも有数のバラの生産地として知られています。

その作り手が語る薔薇物語に耳を傾けバラ尽くしのテーブルを囲む、優雅な時間をお楽しみください。

日時 19:00~21:00

定員 25名 お申し込み順

ゲスト JA清水バラ部会副部会長  
栗田宏昭さん

参加費 1人 500円(試食代)



7月21日(土)

### NPO会計の基礎と活動計算書作成講座

NPO法人会計基準の基礎を学び、わかりやすい会計書類を段取りよく作る方法を学びましょう。法改正での新しい内容もお伝えします。

日時 13:30~16:30

定員 20団体 お申し込み順

講師 NPO法人ボランティアネイバーズ理事  
同相談事業部長  
NPO法人会計基準協議会専門委員  
税理士 中尾さゆりさん

参加費 1人 200円(資料代)

## NPOワンポイント

### SDGs -持続可能な世界の実現を目指して-

終わりの見えない戦争やテロ、難民問題、貧困、地球温暖化と気候変動、地球は多くの課題に直面しています。

日本でも、子どもの貧困や生活困窮者が社会問題となっています。ほかにも人口減少、超高齢化社会、都市と地方の格差、など枚挙に暇がありません。

国連は、2030年に向けて「貧困をなくし、持続可能な世界を実現する」ことをめざし、17分野の持続可能な開発目標、SDGsを決めています。

遠い話のような国連の目標は、ミッションに基づき地域の課題解決のために活動してきたNPOの日々の活動とつながっています。

SDGsの認知度が高まる今、NPOもさらに大きく、いろいろなセクターと手をつなぎ、地球の未来のために活動していきましょう。

